

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

## 「山姥の滝」付近の里山で子どもたちが植樹作業！



植樹当日は、まず、桑尾公民館館長・山本堪さん(高知市里山保全審議会委員)から、「山姥の滝」付近の里山についての紹介がありました！

2月28日(水)、鏡川の源流に位置する「山姥の滝」と「ゴトゴト石」周辺の里山にて、土佐山学舎児童と土佐山桑尾の地域住民と一緒に植樹を行いました！この植樹は、「24時間テレビ 環境保護活動支援事業」の一環として実施したものです(主催：株式会社高知放送 共催：高知市新エネルギー・環境政策課)。

当日は、土佐山学舎児童1～2年生29名、教員6名、地域住民10名が参加し、植樹をしながら地域の自然環境に目を向けたり、世代を超えた交流が生まれたり、充実した時間になりました。



☞当日に安全に植樹を行えるよう、事前に地域住民の方々が植樹場所の土壌整備を行いました。また、野島幸一郎先生(樹木医)をお招きし、土地環境に適した整備手法や植樹する際のポイントなどを教わりました。多様な立場の人が協力し合い、地域の自然環境の保全のために意見を交わす貴重な機会でした！



☞児童の皆さんは、積極的に土を掘り、苗を植え、添え木をし、協力し合って作業を進めていきました。慣れない作業でしたが、地域の方々の優しいサポートを受けながら、最後まで元気いっぱい、植樹に取り組んでいました。



今回の植樹に参加した地域の方々は、長年、土佐山で山仕事に携わってきた熟練の「山師」や、その姿を尊敬し、技術を引継いで、地域の山の景観を守ってきた「弟子」の皆さん。

山仕事に真摯に取り組む地域の方々の想いは、きっと土佐山学舎の児童の皆さんにも伝わっているはずです！



☞タ方のニュース番組「こうちeye」で当日の様子が放送されました！

今回植樹したヤマザクラが大きく成長できるよう、鏡川源流の美しい自然環境を将来につないでいきたいです！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android